

まこと新聞

発行者
高島まこと
後援会
明石 直大
亀山市辺法
寺町205
85-1744



発行にあたり

今回初めて発行させて頂く事になりました。まこと新聞は、後援会活動の一環として、高島まことが将来の亀山をより良くするために何を考え何を訴え行動していくのか解りやすく皆様にお伝えする新聞にしていきたいと思えます。まこと新聞の発行は不定期ですが、皆様に愛される新聞にしていきたいと考えています。今後共どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

自己紹介

昭和四十二年八月七日生
四十二歳。

住所

**亀山市辺法寺町
二〇五**

職業

自営業

趣味

ヨット

ヨットの腕前は、プロ級

議員定数削減、70歳定年制導入を！

亀山市議会議員定数は、二十二年間どれだけの人件費が投入されているか皆様ご存じですか？

議員報酬
月額三九万円
一時金年間
約二百万円

政務調査費
月額二万円
年収約七百万円

二十二名で年間約一億五千万円

議員の人件費を税金から支払っているのが現状です。

高島 まことは、議員定数削減を

実施し、皆様から預かった大切な税金を効率よく使っていていきたいと考えています。

又、市議会議員は、七十歳定年制を導入して若

返りを図っていきたく考えています。

現在亀山市議の平均年齢は、六十・五歳。民間企業は、一般的に六十歳定年です。

若い人に明日の亀山を託して世代交代の時期だと考えます。

亀山市議は、定年退職者の失業対策の職場では有りません。市政を目指す志があれば、現役の内に退路を断って立候補すべきではないでしょうか？

志を持った人が、志をもって市政のために全力を尽くすそれが市議の務めではないでしょうか

高島まこと4つの充実

1. 子育て環境
2. 医療事業
3. 防災環境
4. 福祉環境

子育てについて

私の地域でも元気で可愛い子どもが毎朝学校に登校しています。学校が終わると学童保育に通う子供も沢山います。亀山市も地域の発展と共に嬉しい事に子供も増えました。しかし学童保育も定数以上の所が多々有ります。それに伴い指導員の方も不足しているのも現状です。指導員不足の解消法として元先生とか教員免許を持たれている方は、この亀山市にも沢山います。私の周りでも美術の教員免許を取得している方もいます。しかし市がその様な有資格を募集、発掘しない限り慢性的な指導者不足が解消されず御家族の方も安心して子供を通わせられないのでは無いでしょうか。定員オーバーの事も将来少子化が進むかもしれない事だけに十分な場所も確保出来ない様では、公平な教育の面から考えても子供達の

(つづく)

権利を市が侵害しているのです。将来の亀山を担う子供達をもっともつと大事に育ててあげましょう。

医療について

先般の市議会の中で健康保険料が約10%の値上げが可決されました。此の案件につきまして私は、反対でございます。何故なら値上げの理由一つである国民健康保険の財政の困窮で有りませんが、今私達市民は、それ以上に家計的負担が増大しているにもかかわらず財政見直しもそこにただ困窮しているから値上げするのは反対です。今だからこそ絶対的な家計圧迫は避けるべきだと思います。まず値上げする前に亀山医療センターの経営健全化を實行し市民の皆様が安心と信用のおける医療を目指すべきだと思います。その様な議論も無しで家計直結の値上げは、本末転倒だと思います。医療センターは、他市にも惹け劣らない医療

設備なので、如何に市民の皆様が均一なる医療サービスが出来るのかを議論するべきなのではないでしょうか。ただ医療センターを維持するのではなく皆様の健康を守る唯一の公共機関の場にするかが必要だと思います。私達市民が安心して尚かつ医療機関との信頼関係を今一度構築する事が市政としての役目では、ないでしょうか？

福祉について

亀山市福祉の一環として七十五歳以上の方対象に一人あたり年間一万円分支給されます。タクシーチケットですが、以前まで同居家族が居る家庭では、支給対象外でした。息子夫婦が同居していても平日の昼間は、共働きで病院等に行きたくても行けません。仕方なく近くのバス停まで行き少ない本数のバスで病院に行き大変不自由な思いをされて居る方もいました。現在は、

七十五歳以上の方で有れば、支給対象ですが、申請をしないとタクシーチケットが頂けません。中にはこの制度が、知らない方がいらつしやるかも知れません。これで本当に良いのでしょうか？

以前、障害者施設にお邪魔させて頂いた時の事です。その施設は、重度障害者の方を受け入れている所でした。障害者のお母様にお話を聞くことが出来ました。「今は、私が何とか世話が出来ますが、やがて年と共に私自身も体力も衰えて来たら一体誰がこの子の面倒を覗くれるのでしょうか？」大変切実な問題です。この様な弱者の方に耳を傾け、目を向けて行かなければなりません。

活動報告

六月一九日土曜日一三時より地元野登コミュニティにて、若林正人氏を招いて後援会発足式を開催しまし

後援会 発足式開催！

お掛けし、申し訳有りました。

た。当日会場は、大盛況で百四十二名にお越し頂きました。発足会は、明石後援会長の挨拶に始まり、伊藤馨辺法寺町自治会長、笹岡四日市市議会議員の奥様の挨拶に続き、若林正人氏の講演、高島まことの想いを御来場の皆様へ聞いて頂き、終始 和やかな雰囲気な発足会になりました。会場の設営で一部の方に立ち見席になり大変ご迷惑をお掛けし、申し訳有りました。



先般行われました高島まこと後援会発足式に多くの方が御参加くださりまことに有難う御座いました。今後も皆様の多くの声に耳を傾け後援会活動を活発に頑張っていきたいと思しますので御支援、御鞭撻を宜しく御願いたします。

高島 まこと